



令和6年度 橋本市立高野口小学校スクールプラン

橋本市教育大綱(理念)

人が学びあい、共に育むまちづくり
 ー自治と協働のまち橋本市に向けてー
 ○豊かな心と健やかな体を育みます
 ○家庭教育・学校教育・社会教育の中で多様な学びを育みます
 ○地域・家庭・学校が連携した教育力を育みます

学校評価

・子供たちの活動に触れるにつれ、SDGSの視点を取り入れた学校運営方針が教職員や子どもたちに浸透してきている。
 ・最上位目標達成に向け、清掃活動や公民館への避難訓練など、子供の自主性を生かした具体的な取り組みがなされている。学校での学びがより確かなものとなるよう、家庭との連携をさらに深めていってほしい。
 ・テレビ・ゲーム・スマホの時間が非常に長く、心配。
 ・これまで以上に連絡を密にする、少数意見を大切にされた対応を心がけるなど、学校のより細かな保護者対応が必要。
 ・社会の変化にもよって多忙を極める学校現場。教員個々の資質能力の向上とともに、周りからアドバイスやサポートのできる職場環境の構築が非常に大切。

学校教育目標

未来を創る子どもの育成

最上位目標

自分で考え判断し行動する力(主体性)を育む

めざす児童像

- 自ら考え、すすんで学び、表現する子
- 夢や目標をもって努力を続ける子
- 心優しく思いやりのある子
- 学校や地域に愛着と誇りをもつ子
- 「やってみよう・ありがとう・なんとかなる・ありのままに」Well-beingの4因子を大切にできる子

児童の実態

- ・明るく元気で人懐っこい子が多い
- ・前向きな子が多い
- ・上級生の姿に影響を受けやすい
- ・規律や礼儀正しい子が多い
- ・夢や希望を持った子が少ない
- ・自分で考え行動する力が弱い
- ・粘り強く取り組むことが弱い
- ・人によって態度を変える
- ・家庭での読書量が少ない
- ・家庭でのゲーム等の時間が長い
- ・自己肯定感の低い子が多い

保護者・地域の願い

- ・安全安心な学校で生活を送ってほしい。
- ・子どもの学力を伸ばしてほしい。
- ・宿題をきっちりさせしてほしい。
- ・思いやりのある優しい子になってほしい。
- ・自信を持って努力を続ける子になってほしい。
- ・学校・家庭・地域の連携をさらに深めたい。

「子どもが主語の学校」



「SDGs4 質の高い教育をみんなに」

重点目標

確かな学力の向上

- ・研究主題
主体的な学びの姿をつくる、系統的な国語科学習のあり方～教科横断的な「書く力」につながる読む力の育成を目指して～
- ・組織的な研究の推進
- ・学習指導要領の趣旨を踏まえた授業研究
- ・教科学習と探究学習の両立
- ・家庭学習習慣の定着
- ・学習規律の定着
- ・読書習慣を育む活動の推進
- ・カリキュラム・マネジメントの研究
- ・ESD/SDGsの推進

豊かな心の育成

- ・道徳教育・人権教育の充実
- ・生徒指導・教育相談の充実
- ・いじめの防止
- ・児童理解と個を大切にされた教育の推進
- ・児童会活動、縦割り活動の推進
- ・ふるさと学習の充実
- ・Well-beingの向上

健やかな体の育成

- ・体力づくりの推進
- ・体を動かす遊びの充実
- ・食育の推進
- ・基本的生活習慣の確立
- ・学校安全の徹底

信頼される学校

- ・学校・家庭・地域・関係機関との連携
- ・共育コミティーとの協働
- ・コミュニティ・スクールの推進
- ・防災教育の推進

具体的方策

- ①学力向上推進プランの実施
- ②校内研修の充実による教員の指導力・学級経営力の向上に努める
- ③「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に取り組む
- ④授業や体験の振り返りを大切にする。
- ⑤朝学習の充実と補充学習の充実を図る
- ⑥家庭学習習慣の定着と充実を図る
- ⑦外国語・外国語活動、ICT教育の推進を図る
- ⑧学校図書館を活用した授業と読書活動の推進に取り組む
- ⑨ユネスコスクール加盟校として、ESDに学校全体で取り組む
- ①多くの体験を通して「思いやりの心」を持った優しい子を育てる
- ②言葉を大切に、互いの違いを尊重する人権感覚や人間関係を育てる
- ③態度教育(挨拶・返事・立腰・履き物揃え・食事のマナー)を推進する
- ④仲間づくりを進め自己有用感や自己肯定感を育てる
- ⑤ふるさと学習を中心にESDを進める中で、郷土を愛する子を育てる
- ⑥心理的安全性を高めWell-beingの向上に努める

- ①体育の授業を中心に体育的行事等を通して体力づくりの推進・強化に努める
- ②学校と家庭が連携して基本的生活習慣の定着(早寝・早起き・朝ご飯)を図る
- ③食育全体計画をもとに給食指導を柱とした食育の推進
- ④安全教育の推進と充実に努める

- ①学校だより・学年通信やホームページ、授業公開等による家庭や地域への情報発信
- ②学校運営協議会の活動の充実
- ③地域の教育資源を発掘し、連携・交流を深めることで、互いに活力となるよりよい学校づくり・地域づくりを推進する
- ④地域の防災についての学習を深める

評価指標

- ・学力向上推進プランをPDCAサイクルで取り組む
- ・校内研修や研究授業を計画通り実施している
- ・「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業に取り組むことができたか自己評価を行う
- ・個々の課題に沿った補充学習を定期的実施している
- ・復習継続法を含め、家庭学習の習慣が定着している
- ・朝の読書を充実させ子どもたちの読書の時間を増やすことができています
- ・学力調査の結果分析を授業改善に生かしている
- ・生活科・総合的な学習の時間を中心に、課題解決学習に取り組んでいる
- ・タブレットの有効活用に努めている
- ・ESDカレンダーを年間を通してブラッシュアップできている

- ・一人一人の児童を尊重し、適切な言葉遣いができている
- ・年間指導計画に基づいて道徳の授業を実施している
- ・いじめの未然防止、早期発見・早期解決に努めている
- ・友達の良さを見つけ合ったり、認め合ったりできる学級集団づくりに努めている
- ・態度教育に努めている
- ・縦割り活動で異学年の良い交流がうかがえる
- ・ふるさと学習をESDの視点で実施している
- ・SDGsに関心をもち、児童と共に目標達成に努めている
- ・児童や教職員のWell-beingが高まっている

- ・体育の授業では運動量を確保し、めあてを持って学習する指導を行っている
- ・外遊びをしている子供の姿が多い
- ・全国体力・運動能力調査の結果・分析を体力向上に努めている
- ・アンケートの結果をもとに家庭と連携して基本的生活習慣の定着を図っている
- ・栄養・マナー等、食に関する指導の充実に努めている
- ・子供の事故防止や安全確保・安全指導に努めている

- ・HPや学校だより等を通して、家庭や地域に学校の様子を積極的に発信している
- ・学校運営協議会、共育コミュニティを理解し、協働することができている
- ・ふるさと学習を中心に地域の方々の協力を得ると共に地域のボランティア活動に積極的に参加している
- ・地域防災に関心をもち、学校全体で防災教育を進めている

目指す学校像

- ・子どもにとって毎日行きたくなる学校
- ・保護者にとって通わせたい学校
- ・地域にとって応援したくなる学校
- ・教職員にとって働きたくなる学校
- ・来校者にとってまた来たい学校
- ・…そしてずっと居たい学校

R6年度スローガン

「対話を大切に、みんながお互いを尊重し信頼しあえるWell-beingな学校」